

# カラマツマダラメイガの被害が北海道で発生

原 秀穂

## はじめに

2010年秋、9月下旬に芽室町や帯広市でカラマツ林が葉食性害虫の食害により真っ赤になり（写真－1）、十勝総合振興局森林室から林業試験場に相談があった。10月中・下旬に調査したところ、まだ緑の残る枝に多数の幼虫や繭が観察された。道内ではカラマツ葉食性害虫約15種の被害が報告されているが、それらとは異なる幼虫であった。このため、飼育したところ翌春に成虫が羽化し、分類の専門家によりカラマツマダラメイガであることが判明した。このが以前から北海道に分布することが知られていたが、被害が確認されたのは今回が初めてである。今後の被害対応のために、特徴・生態・被害について以下に取りまとめる。

## 分類・特徴

和名のカラマツマダラメイガは、カラマツを食べる斑のメイガを意味する。メイガはこの種や近縁な種の総称である。

学名・命名者 *Cryptoblabes loxiella* Ragonot

分類 チョウ目（鱗翅目）、メイガ科、マダラメイガ亜科

昆虫の特徴 幼虫（写真－2, 3）は体長最大約14mm。頭部は淡い茶色、複雑な茶色の斑紋がある。胸腹部は背面が広く暗い茶色で、茶色がかった白色の縦縞が数対ある。横の縦縞は太い。腹面は広く淡い茶色。なお、小さな幼虫は緑色を帯びる。幼虫は針葉や枝に糸を張り巡らし、糸に糞や食いちぎられた針葉が絡む（写真－2, 3）。繭は糸で束ねられた針葉の中に観察されたが、幹地際近くの樹皮の割れ目、付近の苔や地被物の中などに作ると言われている。長さ約1cm、白色。繭内の蛹（写真－4）は約7mm、茶色。成虫（写真－5）は体長7～8mm、翅をたたむとほぼ円筒形になる。

被害の特徴 被害は9月頃から目立つようになる。被害林分は非常に赤く見える。これは、食いちぎられ糸に絡んだ針葉が多数枯れて枝上に残るためである。



写真－1～5 カラマツマダラメイガ：1被害，2,3幼虫と巣，4蛹，5雄成虫  
1, 2は2010年10月12日，3は2010年10月23日に帯広市で撮影。

### 生態・分布・被害

**生態** 本州中部山地での観察によれば、年1回発生（2回の可能性もある）；成虫は5月下旬～7月上旬に羽化し、雌成虫は針葉を数枚合わせた中に産卵する；幼虫は7月下旬～8月上旬に孵化、初めは短枝葉の裏に糸を張り巡らし、その中で表皮を残して針葉の裏側を食べる；幼虫は10月上旬頃まで食害を続け、糸を引きながら地上に降下し、幹地際近くの樹皮の割れ目、付近の苔や地被物の中などに繭を作り、繭内で蛹になって越冬する。道内では7月上旬に野外で幼虫が採集され、飼育下で7月末～8月初めに成虫が羽化した報告があり、年2回発生の可能性が高いように思われる。

**寄主植物** カラマツ（葉・球果）。他にズミ、ナラ類、クリ、ウルシ類、レンゲツツジ。

**分布** 日本（北海道・本州）、マレー、インド。

**被害** 被害は1954年に長野県のカラマツ林で初めて確認され、1960年代まで長野県や山梨県で大発生がしばしば観察された。北海道内で被害が確認されたのは冒頭で述べたように今回が初めてである。十勝総合振興局森林室普及課の調査によれば、被害面積は2010年が計65.7ha（芽室町61.2ha、帯広市4.6ha）であったが、2011年はほぼ半減し、計31.1ha（芽室町25.6ha、帯広市5.5ha）となった。減少原因は不明である。なお、山梨県でも2010年に被害が発生している。

カラマツマダラメイガの被害により直接木が枯れた例は知られていない。また、葉食性害虫の食害で衰弱したカラマツは、カラマツヤツバキクイムシの被害を受け（二次被害）、枯死することがあるが、カラマツマダラメイガの被害では例がない。被害発生時期が秋であるため葉の回復（二次開葉）は極めて少ないが、光合成による養分蓄積の最盛期を過ぎている。このため、カラマツに与える食害の影響は比較的小さいと考えられる。また、カラマツヤツバキクイムシの飛翔活動は8月中旬頃に終了するため、カラマツヤツバキクイムシの二次被害の危険も小さいであろう。

### おわりに

道内のカラマツ林では最近、カラマツハラアカハバチの被害が長期的に続いており、道東にも広がっている。このハバチの被害でもカラマツの枯死例は極めて少ない。しかし、カラマツハラアカハバチの食害（8月中下旬）後に残った葉や回復した葉がカラマツマダラメイガに食害されるといった複合被害が起きた場合、大きな枯損被害が発生する可能性は否定できない。今後も被害の動向に対して継続的な注意が望まれる。

末尾ながらカラマツマダラメイガを同定していただいた吉安裕氏（京都府立大学）及び調査データを提供していただいた十勝総合振興局森林室普及課に厚くお礼申し上げます。

（道東支場）

### 参考文献

- 一色周知・六浦 晃, 1961. 針葉樹を加害する小蛾類. 47pp.+20pl. 日本林業技術協会, 東京.
- 佐山勝彦・上田明・原秀穂・小野寺賢介, 2012. 2010年に北海道で発生した森林昆虫. 北方林業, 64: 133 - 136.
- 鈴木重孝・駒井古実, 1984. 北海道における針葉樹を摂食する小蛾類. 北海道林業試験場研究報告, 22: 85 - 129.
- 山家敏雄, 1994. カラマツマダラメイガ. 小林富士雄・竹谷昭彦, 編集, 森林昆虫, 総論・各論, pp. 319 - 320.